



Nagasaki Institute of Applied Science

2007
AUGUST

学 報

No .89

編集・発行：入試広報課



特集

「大学で学ぶ」
NEW FACE



長崎総合科学大学

URL <http://nias.jp/>

大学で学ぶ

現在、教育の大衆化の進展により大学への進学率も高まる中で、少子化などの影響もあいまって「全入の時代」という現象を迎えることとなった。

最高学府としての大学は社会的な責任を負いつつ、大学の個性のアピール、教育内容の充実、就職支援などによって「ブランド力」を身につけるなど個性化、差別化を図って生き残りに取組んでいる。本学では「学生第一主義の活力ある学園づくり」を学園ビジョン

に掲げ、建学の精神、大学の理念、中長期運営方針に基づく、教育環境の整備、実践的な教育に取組んでいる。

本学で学ぶ学生は、何を思い、何を感じ、将来をどのように考えているのか。そして21世紀を担う若者に対して私たち大学は何ができるのか。しなければならぬの

か。在学生の中から無作為に選んだ学生（63名）にアンケートを行った。その内、今回18名を紹介。「大学で学ぶ」ことを見つめる機会にしたい。



工学部
船舶工学科3年生
大久保晶子さん
[高知海洋高校(高知)]

■大学へ進学した理由

高校で水産(船)について学習したので、さらに色々と学びたいと思ったから。

■今、夢中になっていること

三年目の大学生活。勉強はもちろん、友達や講義、全てに熱中しています。「海洋スポーツ同好会」でクルージングや釣りを楽しんでいます。

■一言

高校の三年間よりも月日が過ぎるのが早く感じます。今までも違う充実した学校生活が送れるのではないかと思います。



工学部
船舶工学科4年
岸 一元君
[郁文館高校(東京)]

■大学へ進学した理由

船(特に軍艦)が好きだったので、船の事について学びたかった。

長崎は造船と深い繋がりのある町で、本学が長崎造船大学だったという事に惹かれた。

■今、夢中になっていること

卒業研究で「多連結バージシステムの波浪中運動特性」に関する実験的研究をしています。模型船を使って水槽で実験を行います。現在、その準備中。

■一言

船が好きな人、集まれ!!



工学部
船舶工学科3年
山田 まゆさん
[長崎南高校(長崎)]

■大学へ進学した理由

ものを作ることが好きなのですが、大学へは将来の事を考える時間を持つため進みました。

■今、夢中になっていること

専門の講義にはまっています。特に、「海洋福祉学」の講義では教授の経験を交えた話がとても面白く受講しています。

■一言

一から時間割(自分の学びたい)を決める事ができるのが船舶工学科の魅力です。残りの学校生活をより楽しみたいです。



工学部
船舶工学科4年
立石 昌也君
[大村高校(長崎)]

■大学へ進学した理由

海や船に興味があり、海系の大学進学を希望しました。昨年7月には小型船舶操縦免許1級を取得しました。

■今、夢中になっていること

卒業研究は、船舶の初期構造システムの研究です。造船所と同じCADを使って研究するので面白いです。研究で疲れた時は弓道場で弓を引いて気分転換しています。

■一言

本学科は日本で唯一の船舶工学科で、船や海が好きな人は是非船舶工学科へ来てください。有名な先生方の講義が聞けるので大変勉強になります。



工学部
機械工学科4年
熊 民代さん
[長崎明誠高校(長崎)]

■大学へ進学した理由

環境を保全するための機械を作る人になりたいと考え、その事を学びたかった。

■今、夢中になっていること

卒業研究で「国産中型輸送機YS-11」(尾翼を利用)の機体の経年劣化について研究しています。実験など頑張っています。

■一言

大学では机上の勉強だけではなく、人との関わりや様々な活動を通して多くの事を知ることができます。時間を気にせず、色々な事にチャレンジできる事も魅力です。



工学部
機械工学科2年
池田 結さん
[文化女子大学
附属杉並高校(東京)]

■大学へ進学した理由

幼い頃からロボットアニメや戦隊もの、ものを作ることが好きで、漠然と機械について学びたかった。

■今、夢中になっていること

オープンキャンパスでロボコンに出場したマシンの動く姿を見て本学への進学を決めました。もちろんロボコンのサークル「Nias夢工房」に入っています。6/17の全国大会では予選敗退したけど、自分達が作ったマシンを多くの人に見てもらえるのは嬉しいです。

■一言

「好き」「興味がある」は大きな原動力です。自分の「好きな事」を見つけて取り組むことをお勧めします。



工学部
電気電子情報工学科3年
平 香織さん
[北松西高校(長崎)]

■大学へ進学した理由

高校は情報電子科で、電子・情報関係について更に深く学びたいと思いました。大学生活を通して、色々な人との出会いや、色々な事に挑戦して自分を磨いていきたいと思い進学しました。

■今、夢中になっていること

消防設備士、電気通信主任技術者など在学习中に取りたい資格が沢山あるので、勉強しています。エコ会でLEDライトを使用して植物を育てる研究もしています。

■一言

必修科目が多く大変ですが、教授やクラスのみんな楽しい人ばかりで勉強以外で学べる事も多く楽しいです。



工学部
電気電子工学科1年
溝田 典弘君
[聖母の騎士高校(長崎)]

■大学へ進学した理由

まだまだ将来の事ははっきりとしていないのですが、電気のエキスパートになりたいと考えたからです。

■今、夢中になっていること

パソコンの学校で「MOS 資格」の勉強中です。また、電気に関する資格も取っていきたくて考えています。

■一言

そのまま社会に出るよりも、大学で色々な技術や知識を学んで社会に役立てたい。在学中に色々な資格を取るぞ!!



工学部
建築学科 4 年

山崎 優紀さん
[長崎南高校(長崎)]

■大学へ進学した理由

建築士になりたいと思い、また、長崎で建築の事を学べるのは本学だけだった。

■今、夢中になっていること

ゼミで日本建築学会の設計コンペに提出する作品を制作中です。坂の多い長崎の町で町づくりをテーマに作成しています。

■一言

建築学科は教授と学生の距離がとても近いです。きっと楽しい学生生活になると思います。



工学部
建築学科 1 年

南 信君
[瓊浦高校(長崎)]

■大学へ進学した理由

将来「建築士」になりたいからです。日本は地震が多いので、地震に強く、皆に喜んでもらえる建物を作りたいです。

■今、夢中になっていること

今はとにかく建築の基礎を一生懸命学んでいます。慣れないところもありますが、学科の雰囲気はとても良いです。

■一言

建築学科は専門的な事を学ぶにはかなり良い環境なので進学の一つに考えてみてください。



情報学部
知能情報学科 1 年

中間 翼君
[鹿児島王龍高校(鹿児島)]

■大学へ進学した理由

将来「情報機器」を作る仕事に就きたかったからです。現在はその仕事に就くための基礎的な知識を学んでいます。

■今、夢中になっていること

サークル「Career - Net - Cafe」で社会人との交流、面接練習などを通して将来の就職活動に役立てています。長崎大学よさこい部「突風」にも参加して活動しています。

■一言

大学進学に悩んでいる高校生、本学はマジ楽しいので入学してください。来年の入学をまってま〜す。



情報学部
知能情報学科 3 年

熊谷 侑加さん
[活水高校(長崎)]

■大学へ進学した理由

大学案内に書かれている事がとても楽しそうに興味を湧きました。中でもバーチャルリアリティについて心理状態、技術などを勉強したくて本学に進学しました。

■今、夢中になっていること

大学に入学してからはコンテンツ制作に興味を持ち、現在は 3 DCG や Flash に関心があります。

■一言

この大学は、どんな事でも努力すれば必ず“やれる”大学です。何かを作りたい人、やる気がある人、私達と一緒に「何か」を作ってみませんか。



情報学部
知能情報学科 3 年

松田真由美さん
[延岡高校(宮崎)]

■大学へ進学した理由

情報の分野に興味があり、知能情報学科で特に感性分野について学んでみたいと思ったからです。

■今、夢中になっていること

弓道部に所属し毎日頑張っています。6 月は特に大会が続いてあるので忙しいのですが、充実していてとても楽しいです。もう引退の時期が見えてきたので、できるだけ多くの試合でリーグに残り、団体・個人ともに入賞を狙っていききたいと思います。

■一言

何か一つ、夢中になれるものを見つけることが、大学生活を楽しく過ごす秘訣だと思います。



情報学部
経営情報学科 3 年

川内 崇史君
[鹿町工業高校(長崎)]

■大学へ進学した理由

高校では情報技術科で、高校で学んだことをもっと深く知りたかったので進学しました。様々な資格の取得を目指します。

■今、夢中になっていること

部活動でテニス部、ハンドボール部や、Career - Net - Cafe という就活のための部活動に所属して活動を行っています。

■一言

講義は難しく大変ですが、多くの人達と触れ合ってキャンパスライフを楽しく過ごせると思います。部活動に参加すると自分に役立つと思うので、是非参加してみてください。



情報学部
経営情報学科 3 年

高田 香織さん
[鳴滝高校(長崎)]

■大学へ進学した理由

もっと情報と経営を学びたかったからです。また、大学で沢山の友達と交流したいとの気持ちも進学の大きな理由です。

■今、夢中になっていること

アマチュア無線部の活動を通して、沢山の友達と会話することに今夢中になっています。ただいま 2 級免許取得に向けて勉強しています。

■一言

大学では社会人になる前の準備期間。自己を確立するために、たっぷりある自由な時間を使って、あそびましょう！



情報学部
経営情報学科 3 年

岡野 紗季さん
[佐伯鶴城高校(大分)]

■大学へ進学した理由

情報に関する事を学びたかったからです。

■今、夢中になっていること

サークルのホームページを作ろうと少しずつ準備しています。それとマイクロソフトオフィススペシャリストの資格を取得しようとしてコツコツ勉強しています。

■一言

自分のやりたい事をして、沢山遊んで勉強してください。



人間環境学部
環境文化学科 4 年

中村 祥子さん
[西陵高校(長崎)]

■大学へ進学した理由

とにかく環境問題(地球温暖化など)が学べたかったからです。

■今、夢中になっていること

「ISO の家」で隣接する宿町自治会の方々と一緒に地域通貨を扱っています。住民から古紙を回収し、重さに応じてクーポンを発行するものです。また、地域の方と花見などの交流も盛んです。

■一言

大学に入学して部活、アルバイト、地域交流など充実した生活を送ってきました。大学 4 年間をどのように過ごすかは自分次第です。何かに打ち込めるものを見つけてください。



人間環境学部
環境文化学科 4 年

木場 龍一君
[阿久根高校(鹿児島)]

■大学へ進学した理由

中学生の頃から「自然環境を守りたい」「この美しい地球を未来に残したい」と思っていて、その技術を学びに進学しました。

■今、夢中になっていること

自己の研鑽でもあり、趣味でもある写真や書など芸術活動に夢中になっています。それに人と人との絆を深めるコミュニケーションも大切にしています。

■一言

“良き出逢いを”



4月4日、本学体育館で平成19年度長崎総合科学大学入学式が挙行された。

林学長が大学院博士課程3名、修士課程21名、学部224名、別科日本語研修課程18名の入学を許可した。入学した学生を代表して、大学院の高橋一暢さんが「今、私たちの地球と人類社会には大きくて深刻な課題が横たわっています。産業革命により人類が豊かな生活を手に入れた一方で、その代償として地球温暖化や各種公害など、多くの問題が発生しています。そこで私たち若い世代が地球環境・社会の諸問題について、しっかりと学び、これから進む新しい社会づくりに貢献して参りたいと思います。」

情報学部部の吉井静香さんが「これからの4年間で私たちは多くの

困難に突き当たると思いますが、強い信念を持ち、友と切磋琢磨して行きながら自分たちの歩むべき道を精進していく所存です。時に、先生方や諸先輩方のアドバイスが必要になることもあるかと思いますが、その時は、温かいご指導の程よろしく願います。」

また、留学生を代表してデヴァルデネブロー・ホワンホセマリアさんが「私にとって人生で一番力があるのは知恵というものだと思います。知恵は一番の財産だと思えます。私はこの一年間（別科日本語研修課程の期間）で知恵と友情をいただきました。今日からは学部生としてがんばりますので、みなさん、どうぞよろしく願います。」と挨拶した。

最後に新入生を代表して工学部の末広幸介さんが「私たち新入生は長崎総合科学大学において自らが選んだ研究分野のエキスパートとなるべく、与えられた課題に真摯な姿勢で取り組み、社会に貢献できる人間となるよう、自己の鍛錬を続けることを誓います」と宣誓した。

建学の精神

「自律自強」
「実学実践」
「創意創新」
「宇内和親」

工学部 電気電子工学科

『医療電子コース』一期生入学

今年度、工学部電気電子工学科に『医療電子コース』を開設した。本学で所定の科目を履修し単位を取得して、国家試験「臨床工学技士」の受験資格を目指す。

今年一期生として25名が入学し、「臨床生理学」「医学概論」など講義や実習を行う。

医療機器の高度化が進むなか、病院等で「人工心肺装置」「血液浄化装置」「人工呼吸器」などの最先端の医療機器を取り扱う専門家である「臨床工学技士」のニーズ



は近年、急速に高まりを見せている。

本学の電気電子工学科に新設された『医療電子コース』の特徴は、長い歴史を有する「電気工学」と「電子工学」の教育・研究システムを基盤として、深い工学的知識と医学的素養を併せ持った医療技術者を養成するところにあり、期待が高まっている。

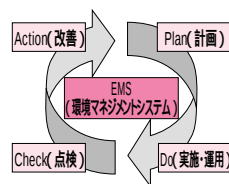
人間環境学部 カリキュラム改編

学部改革により2008年度からカリキュラムが改編される。
新たに「地域学コース」を設け、環境に配慮し地域

に調和したこれからのまちづくりを学び、フィールドワークを通じた実践的な学習を行う。

■学ぶ3つの部門とコース

環境 マネジメント 1



環境マネジメントシステムの具体的な構築・運用方法を修得。また、関連する法律や経済性など幅広い視野で学ぶ。

環境 バイオロジー 2



生態系と生物多様性の保全のあり方や、環境への負荷を軽減した栽培技術や農業のあり方について学ぶ。

環境 テクノロジー 3



環境への負荷を軽減する対策技術や処理技術、資源を最大に利用するバイオマスなど新しいエネルギーのあり方を考える。

地域学コース (2年生から選択)



環境に配慮し、地域に調和したまちづくりを学び、地域というフィールドに直接触れ、まちづくりに実践的に取り組む。

■新入教職員の紹介

今年の4月、新たにスタッフとなった教職員を紹介します。

見方

名前
所属・職名
趣味
抱負など一言



貴島 勝郎
理事、評議員
工学部
船舶工学科
教授【工学博士】

乗り物全般ですが、種々の乗り物のメカニズムに興味があります。特に興味があるのが、飛行機、自動車です。船は趣味を乗り越えて専門にしています。私自身の車の経歴は過去35年間でちょうど10台の車に乗ったことになりません。

資源の少ない我が国にとって海運、海上輸送は非常に重要な分野です。我が国の船舶工学分野が今後ますます発展していくように、また造船分野が世界をリードしていくように、若人の教育と技術の育成に力を注いでいくつもりです。



川添 薫
工学部
電気電子工学科
准教授
ヨット・クルージング

医療施設で26年間学んださまざまな臨床

経験を活かして臨床工学技士に必要な幅広い知識と技術の提供を実践的内容を踏まえて講義していきたいと考えています。また、新技術創成研究所で医療デバイスを数多く研究・開発し医工連携・産学官の中心的役割が担えるよう、尽力していきたいと考えております。

どうぞよろしくお願い致します。



山田 由香里
工学部
建築学科
准教授【博士（工学）】
コンサート鑑賞

旅行（特に自然景観）建築の歴史・意匠を専門としています。長崎県内には、各地に歴史の町があります。歴史の町には、いい町並みに加え、おいしい味と、再び会いたくなる人がいます。ゼミの学生と、どんな町に出会えるか、楽しみにしています。



藤野 真
情報学部
経営情報学科
助教
サイクリング

小集団活動（QCサークル）を研究対象にしています。地味な研究分野ですが、企業の行動特性を知るにはもってこいの研究分野だと思います。

経営学は勉強の効果を実感しにくい学問分野だと思います。くじけそうになると思いますが、コツ

コツ一緒に勉強ができればと思っています。ときには厳しいことも言いますが、よろしく願います。



古山 滋人
情報学部
経営情報学科
助教
【博士（工学）】
映画鑑賞

パソコンの豆知識の収集「新しい力で、ぬるま湯感を打破する！」

教育研究者としての経験は浅いですが、そこは気合と根性でカバーし、学生時代に思い描いた理想の大学教員に、少しでも近づけるようがんばりますので、よろしくお願い致します。



尾崎 洋介
附属高等学校教諭
バレーボール
高校生に負けないように頑張ります！



荒木 しづか
学生課
女子寮管理人
旅行（温泉めぐり）
喜んでおいしく食べられる料理を作り、頼られる寮母になりたい。

■永年勤続表彰



6月25日、および7月12日、平成19年度永年勤続者表彰式が行われた。

10年勤続

伴丈 正志
上野 誠司

20年勤続

奥田 裕也
川竹 成稔
尾崎 直美

30年勤続

中尾 孝広
村田 明久
濱砂 博信

花井 徳寛
脇山 祐介
喜種 博

森 一則
石丸千可子
松尾 礼子

中尾百合香
中尾 雅香

40年勤続

奥村 典男

■知的財産アドバイザーの派遣受入について

（独工業所有権情報・研修館（特許庁の外郭団体）からの知的財産アドバイザーの派遣が採択され、埼玉医科大学の飯野 顕氏が本学へ派遣されることになった。平成19年度の1年間、知的財産管理体制の評価、整備や知的財産の取扱、出願等に対する指導をいただくこととなる。詳細は次の通り。

氏名 飯野 顕【工学博士】

職名 大学院客員教授

（知的財産アドバイザー）

任期 平成19年度

勤務 埼玉医科大学の知的財産アドバイザーを本務として、本学へ出張派遣毎月1週間程度

略歴 古河電気工業（株）の後、三重大学にて知的財産管理アドバイザー（3年間）

準硬式野球部



DATA

部員数 20人
活動日 月～金
場所 グラウンド



工学部電気電子情報工学科4年
大久保康弘君

面白い人で、みんなから好かれているキャプテン。ちょっと酒ぐせが悪いかなあ。(マネージャー談)



メッセージ

「準硬式野球」というものを一度グラウンドに見に来てください!!
期待は絶対に裏切りません!
マネージャーも募集中!

ここが一押し
先輩・後輩関係なく、仲が良い。いつも練習では笑顔が絶えません。
今後の目標
九州選手権で優勝し全国大会に出場することです。
祝第57回九州地区大学体育大会第3位(6/22、25開催)

学生自治会



執行委員長
川原 崇裕君(前列中央)
(工学部機械工学科2年)



DATA

部員数 13人
活動日 月～金
場所 本館3F

大学行事の企画・運営を行う。

造大祭実行委員会



DATA

部員数 約30人
活動日 毎週水曜日
場所 本館3F

毎年11月に学園祭「造大祭」を開催。8月は協賛広告の依頼に走り回り、造大祭へ向けて、みんなで一生懸命頑張っています。

クラブ&サークル

注目の部活動を紹介します。

以下は今回紹介できなかった部です。

同好会

- ・海洋スポーツ同好会
- ・リアルスポーツ
- ・X-Game (スケートボード)
- ・フットサル同好会
- ・FC-ABA13
- ・テコンドー
- ・フットサルサークル玉職人
- ・予測技術研究会
- ～DICE～

体育会系

- ・ヨット部
- ・アイスホッケー部
- ・陸上部
- ・空手道部
- ・新極真空手部
- ・剣道部
- ・柔道部
- ・水泳部
- ・硬式庭球部
- ・卓球部
- ・バスケットボール部

文化系

- ・バレーボール部
- ・ハンドボール部
- ・バドミントン部
- ・アマチュア無線部
- ・教育を考える学生の会
- ・コンピュータ技術研修部
- ・写真部
- ・吹奏楽部
- ・美術部
- ・海釣りクラブ

弓道部



DATA

部員数 11人
活動日 月～金
場所 電気実験棟裏



工学部船舶工学科3年
内山奈緒子さん

普段は温かな内山さん。試合前には誰も寄せ付けないオーラを出すそうです。



メッセージ

歴史ある弓道部に部員不足という危機的状況がやってきました。
誰か助けて下さい。男女共にチームが組みなくなるんです!

ここが一押し
先輩・後輩がめさ仲良し。歴代OB・OGとの交流がかなり盛んです。
個性あふれる人しかないない。
今後の目標
もちろん優勝に決まっています。
長崎一にはまもなくならないと思います。はい。

就活準備サークル

Career-Net-Cafe 部



DATA

部員数 25人
活動日 水・木
場所 本館3F (学食の上)



情報学部経営情報学科3年
志賀 達哉君

シャイな笑顔と優しさで部員からの信頼も厚い。自らも努力を怠らない!!



ホームページ(URL) <http://www.nias.ac.jp/cafe/>

メッセージ

固そうに見えますが、逆にスゴク楽しい部です。みんなで良いキャンパスライフを過ごせるように思っています。楽しみましょう!!

ここが一押し
先輩・後輩ががば仲間!
部員ひとりひとりの個性があふれる、色々な意見や考えを知ることができる。将来に活かせる。
なにより、とても楽しい。
今後の目標
県内の社会人・学生と交流し、情報交換を行う。就活で内定を取れるように頑張る。そして将来をたくましく生き抜く力と自信を得たい。

音楽系 サークル



DATA

音楽部 (16人)
フォーク部 (12人)
軽音楽部 (12人)
場所 体育館1階



各部の部長(写真は左から)
音楽部 井上 雅俊君
(工学部建築学科3年)
フォーク部 志田 祐一君
(工学部建築学科3年)
軽音部 坂井 裕周君
(人間環境学部環境文化学科3年)

「SMILE ケーボン」 (音楽部)



「SIDE KICK」 (フォーク部)



「Worthless」 (フォーク部)



「煩惱ズ」 (フォーク部)



「Beil」 (軽音楽部)



「HELL - SEE」 (軽音楽部)



経験者、初心者問わず、音楽好きな人大募集しています。興味があったらぜひ見学に来て下さい！

メッセージ

今後の目標
年3度のライブ(夏、秋の学園祭、冬に実施)をもっと増やして積極的に外のライブにも参加していきたい

ここが一押し
楽しい！とにかく楽しいサークルです!!
大学生活Enjoyできること間違いナシ!
楽器も先輩が丁寧に教えてくれますよ!

サッカー部



DATA

部員数 15人
活動日 週3~4回
場所 グラウンド



工学部建築学科3年生
野口 拓也君

性格は「明るく」「熱い」練習が大好きなキャプテンです。



メッセージ
未経験者、経験者、関係なく興味のある人は見学に来て下さい。
一緒にサッカーしましょう。

今後の目標
秋季リーグ(長崎県の大会9~10月開催)で優勝して九州大会へ出場する。
攻守の要の萩村君を中心にチーム一丸となって勝利へ向けて頑張ります。

ここが一押し
みんな熱い&楽しい!

ペーロン部



DATA

部員数 22人
活動日 週6回
場所 網場湾



工学部建築学科4年生
田ノ上勇一郎君

(本当は)優しい性格だが、後輩から「部活中は怖い」と言われている主将。



メッセージ
海の男ばんざい!
男は気合!
女は愛嬌!
今夜はサイコー!

今後の目標
毎年7月に長崎港で開催される「長崎ペーロン選手権大会」で優勝すること!

ここが一押し
基本はみんなおバカだけど、元気で大学一熱い部活です
仲の良さはどこにも負けません

トピックス

TOPICS

TOPICS ①

長崎市との産業振興に係る連携協定に調印



調印後握手する参加者。
(右から齋藤学長、田上市長、行徳理事長、池田学長)

6月20日、長崎市役所において長崎市と長崎大学、県立長崎シーボルト大学、本学の3大学が長崎市の産業振興に資するため、連携協定を結び、連携協定書の調印式を行った。

これは、大学の知的財産を活用した中小企業の事業拡大等を核とした産業振興を図るもの。調印式には本学の行徳理事長が出席し、田上市長、長崎大学の齋藤学長、県立長崎シーボルト大学の池田学長等と協定書にサインした。

背景には経済のグローバル化、地域間競争の激化により、地場中小企業の競争力強化や地域の持つ潜在的なポテンシャルを十分に引き出す施策の展開が課題となっており、今後は市が持つ企業情報と、大学の研究技術、成果を共有し、産学官の連携を強化し対応していく。

今秋には、起業家育成施設「島インキュベータ」D FLAG長崎3大学連携型起業家育成施設が開設する。単に入居者のためだけの施設にとどまらず、市内全ての中小企業の新事業展開及び創業の拠点となるべく環境を整備していく。

TOPICS ②

長崎地区父母懇談会を開催

6月10日、本学において長崎地区の3、4年生を対象とした父母懇談会を開催した。122組183名の近年では最多の出席で会場が埋め尽くされ、参加した保護者は大学側からの説明に耳を傾けていた。林一馬学長が大学の近況を報告し、谷昇学生部長が就職関係について説明を行った。その後、学部・学科ごとに分かれて、学業成績、就職活動などについて担当教員との個人面談を行い、終了後、本館食堂で懇談会が行われた。懇談会には翌週に「NHK大学ロボコン2007」に出場する本学「NIAS夢工房」のメンバーも参加し、大会への抱負や実際に出場するロボットを使っているなどの説明をした。

TOPICS ③

韓国の大学生が本学で日本語短期研修



開校式で挨拶する研修生



国際交流スポーツ大会で記念撮影

6月27日、本学で韓国の南理工大学と巨済大学の学生24名の日本語短期研修の開校式が行われた。

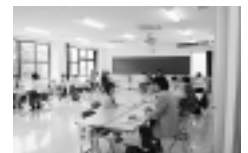
式が行われた。研修は7月25日までの約1ヶ月の期間、日本語の授業と華語体験や、日本の留学生や日本人学生とのボウリング大会、ドッジボール大会などを通じて交流を深めた。

- ・ 嶺南理工大学
- ・ 2003年2月に交流協力の協定書締結
- ・ 研修は今回で5回目
- ・ 学生20名と引率1名が参加
- ・ 巨済大学
- ・ 2005年2月に交流協力の協定書締結
- ・ 研修は今回が初めて
- ・ 学生4名と引率1名が参加

今後の開催予定

9月2日(日)	佐世保	佐世保シティホテル
9月2日(日)	佐賀	ホテルニューオータニ佐賀
9月2日(日)	福岡	三井アーバンホテル福岡
9月2日(日)	山口	東京第一ホテル下関
9月8日(土)	大阪	三井アーバンホテル大阪
9月8日(土)	宮崎	宮崎レマンホテル
9月9日(日)	松山	東京第一ホテル松山
9月9日(日)	鹿児島	ブルーウェイブイン鹿児島
9月15日(土)	東京	ニューオータニイン東京
9月16日(日)	長崎	本学
10月13日(土)	沖縄	那覇セントラルホテル

【式次第(予定)】 沖縄会場を除く(各30分遅れ開始)
受付 12:30~
全体会 13:00~13:30
個別面談 13:30~15:00
懇親会 15:00~16:30



個人面談の様子



「NIAS 夢工房」の挨拶

本学の財政状況

貸借対照表 2007年3月31日現在

(単位: 百万円)

資産の部		負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	
科目	金額	科目	金額
固定資産	10,631	負債	1,678
有形固定資産	8,992	固定負債	1,228
その他の固定資産	1,639	流動負債	450
流動資産	1,018	基本金	13,091
		消費収支差額	3,120
資産の部合計	11,649	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	11,649

2006年度 資金収支計算書 2006年4月1日から2007年3月31日まで

〈収入の部〉		〈支出の部〉	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	1,573	人件費支出	1,525
手数料収入	20	教育研究経費支出	519
寄付金収入	10	管理経費支出	160
補助金収入	548	借入金等利息支出	13
資産運用収入	15	借入金等返済支出	56
事業収入	113	施設関係支出	10
雑収入	100	設備関係支出	31
前受金収入	315	資産運用支出	0
その他収入	94	その他の支出	87
資金収入調整勘定	402	資金支出調整勘定	41
前年度繰越支払資金	867	次年度繰越支払資金	893
収入の部合計	3,253	支出の部合計	3,253

2006年度 消費収支計算書 2006年4月1日から2007年3月31日まで

〈支出の部〉		〈収入の部〉	
科目	金額	科目	金額
人件費	1,491	学生生徒等納付金	1,573
教育研究経費	762	手数料	20
管理経費	177	寄付金	14
借入金等利息	13	補助金	548
資産処分差額	13	資産運用収入	15
徴収不能引当金繰入額	22	事業収入	113
		雑収入	103
		帰属収入合計	2,386
		基本金組入額合計	60
消費支出の部合計	2,478	消費収入の部合計	2,326
当年度消費支出超過額	154		
前年度繰越消費支出超過額	2,966		
次年度繰越消費支出超過額	3,120		

TOPICS

4 矢島浩教授
日本船舶海洋工学会の
最高賞「吉識賞」を受賞



工学部機械工学科の矢島浩教授（本学理事、大学院工学研究科教授）が日本船舶海洋工学会船舶海洋技術賞（吉識賞）を受賞した。

船舶海洋技術賞（吉識賞）は、わが国の船舶海洋技術または学術の進歩発展に顕著な貢献のあった人に対し授与されるもので、日本船舶海洋工学会で最高の賞。

同教授は、三菱重工業（株）、広島大学を経て、本学に在職。その間、製鉄メーカー、造船所を指導し、鋼材の破壊靱性評価手法の開発、高機能・高強度造船用鋼材の開発・実用化に多大な功績を残した。専門は破壊力学、材料強度学。

TOPICS

6 加藤貴助教
「Award of Excellence」
を受賞



大学院新技術創成研究所の加藤貴助教が、「光励起高温超伝導性発現の可能性についての提案に関する研究」が評価されて「Trans worldResearchNetwork 出版社（Kerala）（<http://www.tnres.com/>）から「Award of Excellence」を受賞した。

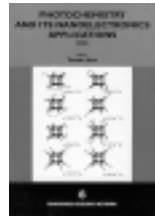
TOPICS

5 慎燦益教授
日本船舶海洋工学会の
功労員に推薦される



工学部船舶工学科の慎燦益教授（本学常務理事、大学院工学研究科教授、本学船舶工学科昭和45年卒）が本年5月、日本船舶海洋工学会の功労員に推薦された。

功労員は、学会の事業に対して特に功労のあった正員の中から、総会において推薦されるもので、110年の歴史を持つ学会において、現在61人しかいない。本学卒業生としては初。日本船舶海洋工学会の会員数は現在約4600人。



Transworld Research Network 出版社（Kerala）から出版した著書

加藤貴助教は京都大学、マックス・プランク研究所（ドイツ、シュツットガルト）そして本学で長年に亘って、超伝導理論をはじめとする物性物理学の研究を行ってきた。特にナノエレクトロニクス分野に関連して、「光励起高温超伝導性発現の可能性に関する提案」に関する研究は、光化学、量子化学と物性物理学の長年の研究経験を活かして、近年（2004・2005年）同助教が本学で行なった斬新な研究であり、世界で初めて理論的に提案されたものである。

TOPICS

7 博士学位論文公聴会開催



6月29日、本学で人間環境学部教授であるブライアン・パークガフ二氏の博士学位論文公聴会が開催された。

博士学位論文題目は「ウオーカー家の足跡調査にもとづく長崎居留地の通史的調査」。

長崎居留地の主要な住民であったウオーカー兄弟および子孫に着目し、内外の関連資料によつて彼等の詳細な足跡調査を行い、それに基づいて長崎居留地の研究に欠如していた人間的・人文的要素を加えるとともに、はじめてその全史にわたる通史的視座を提供しようとした研究である。

TOPICS

9 県内企業と留学生支援者と
と本学留学生との懇談会



6月9日、本学で長崎県内企業と留学生支援者と本学留学生との懇談会が開催された。

これは、県内企業と留学生を支援している県内関係者と本学

TOPICS

8 消防訓練を実施

5月23日、本学人間環境学部で消防訓練を実施した。

学部の学生、教職員約60名が参加して、防火ビデオの視聴、防火講話、消火器の取扱の説明や、実際に消火器を使った操作についての指導も行われた。

今年3月に人間環境学部が「HSE（環境マネジメントシステム）認証を取得」し、環境として開催。当日は長崎市中心消防署より講師2名が指導にいられた。



TOPICS

10 安達教授、早川教授の
最終講義



4月27日、今年の3月末で退職された工学部建築学科の安達守弘先生と早川和男先生の最終講義が行われ、参加した大学院生、学部生、教職員やOBなど両先生の最後の講義に聞き入った。

■安達守弘先生
演題
「スーパーストラクチャ（東京都庁）
はどのようにして生まれたか」

安達先生は鹿島建設（株）勤務時、東京都庁の設計コンペから建設に至る中で、構造家の武藤清氏や建築家の丹下健三氏との秘話や、これまでの経験に基づく構造家としての考えなどが話され、また、「コンピュータは出来上がったものを検証して人に説明する道具としては有効なんではないか」と警告をした。

■早川和男先生
演題
「私の研究 生活空間の研究」

早川先生は住居学、建築計画学等研究者の西山外三氏の影響を受け、「土地問題」などの研究履歴や、どのように話して研究してきたかについて話しながら「研究や学問は『方法論』が大事」「方法が間違っている」と成果は出ない」と話し、「これからは私の出番」と意欲的に話を締めくくった。

教員、 学生の活動

林一馬学長がまちづくり
テーマに講演



5月19日、雲仙市小浜町のふれあいの村で「美しいまちづくり」をテーマとした講演会が開催され、林一馬学長が講演した。（惜梅亭を保存活用する会、小浜温泉57主催）
林学長は長崎県知事がまちづくり関係施策の重要な事項について諮問する機関として設置し

ている長崎県美しいまちづくり審議会の会長を務める。

パークガフニ教授 市川森一氏と対談

4月29日、長崎歴史文化博物館において「市川森一名誉館長奉行事トーク」に本学ブライアン・F・パークガフニ教授（人間環境学部環境文化学科）がゲスト出演し、「蝶々夫人と長崎」のテーマで講演した。



藤川教授と研究室の学生 が参加



●5月19・20日、長崎市水辺の森公園一帯を使ってテレビ長崎の「KTNの日」が開催され、工学部機械工学科の藤川卓爾教授（工学部長）と研究室の学生たちが参加した。
地球温暖化防止のための県民キャンペーン「チーム長崎」を啓蒙するなど目的に開催。このイベントで藤川教授らは「自転車漕いで発電し、ポータブル

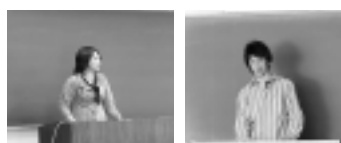
ルミシンで古タオルを利用して雑巾を縫う」という「地球温暖化防止、リサイクル、環境美化推進」のための視聴者参加イベントに参画。研究室メンバーが自転車を改良し、発電した電力でミシンが動く装置を開発。最終的に、雑巾534枚、漕いだ自転車の距離は801km（長崎から京都の手前の枚方市までの距離）楽しみながら電気の大切さを考える企画となった。
この模様は、5月19日の「できたてGopan」の特別番組の中で生中継された。
●6月2日、長崎市浜の町のペルナード観光通りで「平成19年度環境月間街頭キャンペーン」（長崎県、長崎市の主催）が開催され、藤川卓爾工学部教授の研究室も参加した。
KTN（テレビ長崎）からの



呼びかけで「自転車こいでぞうきん作ろう」をKTNのスタッフと協力して実施した。
5時間で66枚のぞうきんが縫いあがり、前回とあわせて600枚（走行距離で900km）となった。

インターンシップ ガイダンス

4月25日、「第1回インターンシップガイダンス」を開催。昨年度にインターンシップを体験した学生から報告があり、また、教務課の担当者から履修について説明が行われた。



沖縄県人会

沖縄県出身の学生でつくる「沖縄県人会」が3月26日の長崎新聞で紹介された。入学式や卒業式、学園祭などのほか、地域のイベントや老人ホームなどで沖縄の伝統芸能「エイサー」を披露する学生の取り組みの様子が紹介された。

4月5日、本学キャンパスでNBCラジオが「沖縄県人会」の活動内容や沖縄弁について生中継で紹介し、メンバーが沖縄の伝統芸能「エイサー」を披露した。



帆船まつり

4月26日から長崎港で「長崎帆船まつり」が開催され、工学部船舶工学科および海洋スポーツ文化センターが企画参加し、学生と教員がまつりを盛り上げた。本学の参加は毎年恒例となっており、期間中、本学の企画を楽しみにされているお客様も多数来場された。



ジャズとマリンスポーツ
で海辺のフェスティバル
6月10日、佐世保市の西海
パールのシーで「ジャズとマリ



スポーツで海辺のフェスティバル」が開催され、本学工学部船舶工学科が企画参加した。
野瀬幹夫教授の研究室と林田滋教授の研究室が参加し、野瀬研究室では人力水中翼船（West-Galeon）を展示したほか、野瀬教授がマリンスポーツ大会にて「人力船、飛び魚を目指した挑戦者たち」と題して講演した。
また、林田研究室では二人乗りのソーラボートの試乗会を行い、林田教授がソーラレポートについて紹介した。



留学生の新生歓迎会

6月12日、本学で留学生新生歓迎会が行われた。留学生、日本人学生、来賓、教職員が参加し、楽しく交流を深めた。
今年は中国をはじめ、韓国、台湾、マレーシア、ミャンマー、アメリカ、コロンビアから、大学院修士課程に7名（うち1名は編入学）、工学部に2名、人間環境学部2名、情報学部5名（うち1名は編入学）、別科日本語研修課程に19名の新しい仲間が加わった。

TOPICS 12

テレビ・ラジオ 取材・放送

キャンパスでラジオの生放送



6月2日、本学シーサイドキャンパスの2階エントランスがNBCラジオ（長崎放送株式会社）のラジDONサタデーのスタジオとなった。

番組は12時から14時33分の生放送。シーサイドキャンパスに特設のスタジオを設置。パーソナリティの村山仁志さん、ごうまなみさん、スキッピーのスタッフがステージや研究室、長崎ペンギン水族館などへ移動して今回のテーマ「環境スペシャル」について語った。

人間環境学部環境文化学科の石橋康弘准教授が番組のコメントーターを担当。坂井正康教授（同学部学科）がバイオマスエネルギーについて実験装置や抽



出したメタノールで動くバイクを使って環境への取り組みを語り、学生が主体となって取り組み取得したISO14001の認証について木場龍一君（同学部学科4年）、地域の自治会と連携して取り組む古紙回収について中村祥子さん（4年）、子供たちに廃油キャンドル作りを指導した高山幸樹君（3年）とISOの家（1年から4年まで約30名の学生で構成）のメンバーが参加した。



当日は長崎夢キッズ（県内小学生1～6年の会員120名ほど。今年一年は環境を考えるエコキッズとして取り組む）の認証式があり、式には64名が参加し、終了後は人間環境学部の学生の指導を受けて廃油キャンドルをなぜ作るのかを学び、どうやって作るかを体験した。

また、長崎を中心に活動している「心人（こころびと）」のミニライブも行われた。

人間環境学部学生による 古紙回収の取り組み

本学の人間環境学部の学生グループと宿町自治会とが連携して、今年4月から運用を開始した携帯電話のQRコードの読み取り機能を利用した「古紙回収システム」の取り組みが5月15日の長崎新聞に掲載された。

6月6日、地元長崎のNCC長崎文化放送とNIB長崎国際テレビの取材があり、実際の古紙回収システムの取り組みの様子やリリーダーの中村祥子さん（同学部環境文化学科4年）及びQRコードの管理システムについて企業と共同研究を実施している蒲原新一講師（同学部学科）へのインタビューなどが行われた。

この模様は、6月6日のNIB「ニュースリアルタイム」、6月8日の「NCCニュース」で放送された。

TOPICS 13

本学への 訪問者

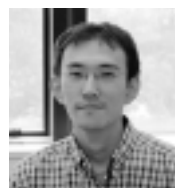
「中国全国人民代表 大会」の視察団

3月24日、「中国全国人民代表大会」の視察団らが本学を訪問。本学の「新技術創成研究所」における研究活動や、研究室の見学を行った。常務委員会副委員長長の路甬祥氏ら24名と、参議院国際部5名、中国駐日日本国大使館員3名などの44名をお迎



繁宮講師の研究が TV放送

繁宮悠介講師（人間環境学部環境文化学科）の研究が6月16日にNCC長崎文化放送で放送された。「小さなものへこだわり」というテーマで、サワガニを研究している様子が紹介された。



岐阜県からの修学旅行生

えし、行徳理事長、山邊新技術創成研究所長、本学に在学する中国からの留学生ら本学関係者が熱烈歓迎した。



5月31日、修学旅行で来崎した岐阜県中津川市立付知中学校の生徒6名が「WEBコンテンツ制作」を、岐阜県土岐市立土岐津中学校の生徒12名が「ウェイクボード」と「シーカヤック」の体験学習をそれぞれ行った。

パークガフニ教授出演の 番組、好評につき再放送



2月19日に放送されたパークガフニ教授（人間環境学部環境文化学科）が出演する特別番組

組「霧笛の長崎居留地」パークガフニ教授のウオーカー兄弟伝が、好評につき長崎をほじめ、福岡、大分、熊本、鹿児島でも放送された。

同教授は昨年3月、「霧笛の長崎居留地ウオーカー兄弟と海運日本の黎明」を長崎新聞社より出版。三菱の大型蒸気船の船長として明治維新から海運日本の草創に貢献した英国人のウオーカー兄弟ら家族の波乱の生涯と長崎居留地の実態を、新事実をまじえて究明している。

日見小学校の児童が クルージング体験



6月30日、日見小学校の児童がヨットやボートで橘湾のクルージング体験を行った。

これは、地元の豊かな自然に触れることを目的に日見小学校区育成協の要請を海洋・スポーツ文化センターが受け、毎年実施している体験学習。当日は日見小学校の5、6年生約20人と父母、役員がクルージングを楽しんだ。

長崎新聞社の取材もあり、7月1日付の長崎新聞にて紹介された。

Information

■オープンキャンパス
「Next Door」ネクストドア



開催日
第1回 7月29日
第2回 9月23日
第3回 11月10日

プログラム

模擬講義（学生発表）
キャンパス見学や体験学習
学食体験
進学相談

▶詳細の内容や、問合せ▼
<http://nias.jp/>

2008年度学生募集要項

学部〔工学部・情報学部・人間環境学部〕

学部	学科（コース）	定員
工 学 部	船舶工学科（造船技術コース、海洋フロンティアコース）	35
	機械工学科	60
	電気電子工学科（電気電子工学科、医療電子コース）	60
	建築学科（建築学科、住居学コース（女子のみ））	75
情 報 学 部	知能情報学科	60
	経営情報学科	60
人間環境学部	環境文化学科	75

	推薦入試		AO入試	
	前期	後期	前期	後期
	一般推薦	専門高校・総合学科推薦	一般推薦	
出願期間	11月1日～11月13日	11月27日～12月11日	9月3日～12月11日	1月8日～3月14日
試験日	11月17日 長崎のみ 11月18日 長崎を含む全会場	12月15日	随時	
科目等	面接（個別） 小論文（出願時提出：600～800字） 自己推薦書（出願時提出：600～800字）	面接（個別） 小論文（出願時提出：600～800字）	面接（個別） 志望理由書（出願時提出：600～800字）	
会場	長崎、佐世保、那覇、鹿児島、宮崎、大分、熊本、佐賀、福岡、松山、広島、岡山、大阪、名古屋、東京、札幌	長崎、福岡	本学	
受験料	30,000円		30,000円	
合格発表	11月26日		11月26日 12月21日	2月19日 3月11日 3月21日

	一般入試		センター試験利用入試	
	前期	後期	前期	後期
出願期間	1月8日～2月1日	2月20日～3月4日	1月8日～2月8日	2月28日～3月14日
試験日	2月7日 2月8日	3月9日	-	-
科目等	2科目 1. 数学①（数Ⅰ＋数Ⅱ＋数A＋数B） 2. 数学②（数Ⅰ＋数A） 3. 国 語（国語総合（古文、漢文を除く）） 4. 理 科（物理Ⅰ＋Ⅱ、化学Ⅰ＋Ⅱ、生物Ⅰ＋Ⅱ） 5. 外国語（英Ⅰ＋英Ⅱ＋リーディング）	3科目 1. 外国語（英、独、仏、中、韓） 英語のみリスニングテストを含む 2. 地理歴史（世A、世B、日A、日B、地理A、地理B） 3. 数学①（数Ⅰ、数Ⅱ・数A） 4. 数学②（数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、情報） 5. 国 語（国語） 6. 理科①（理科総合B、生Ⅰ） 7. 理科②（理科総合A、化学Ⅰ） 8. 理科③（物Ⅰ、地学Ⅰ） 9. 公 民（現社、倫、政経）	2科目 1. 外国語（英、独、仏、中、韓） 英語のみリスニングテストを含む 2. 地理歴史（世A、世B、日A、日B、地理A、地理B） 3. 数学①（数Ⅰ、数Ⅱ・数A） 4. 数学②（数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、情報） 5. 国 語（国語） 6. 理科①（理科総合B、生Ⅰ） 7. 理科②（理科総合A、化学Ⅰ） 8. 理科③（物Ⅰ、地学Ⅰ） 9. 公 民（現社、倫、政経）	
会 場	長崎、佐世保、那覇、鹿児島、宮崎、大分、熊本、佐賀、福岡、松山、広島、岡山、大阪、名古屋、東京	長崎、鹿児島、福岡、松山、広島、大阪、名古屋、東京		
受 験 料	28,000円		13,000円	
合格発表	2月19日		2月19日	3月21日

夏休み期間も学内外で本学関係のイベントが開催され、学生たちが大活躍。学生のイキイキとした表情がカメラのレンズを通じて伝わってきた。今後も取材を通じて、学生の成長を見守り、しっかりと伝えていきたい。（〇〇）（Ｔ）

「先生と学生が和気藹々としていて良い雰囲気ですね」と取材に来た報道関係者や、本学を訪れた方々からの談。また、先生と学生の距離は近い。また、交流も盛んだ。そんな「人」達や、活動を紹介し、NiASの「力」を伝えていきたい。（Ｉ）

編集後記

受験生必見!!

NiAS マガジン はこちら

click

NiAS の特色、進学説明会の情報などなど、受験生の知りたい情報をまとめています。ご覧ください。

URL

http://nias.jp/for_entrance/index.html

大学へ nias.jp

検索



このQRコードで
本学携帯電話ホームページにアクセスできます